

ヒルフェ通信(1月号) ✿そっと寄り添いやさしくサポート✿

「公益社団法人成年後見支援センター
ヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的
障がい者等の権利の擁護及び福祉の
増進に寄与することを目的として、東京都
行政書士会が設立した法人です。



新年明けましておめでとうございます。本年も、ヒルフェの活動や成年後見に役立つ情報を掲載してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

◆特別区長会会長吉住新宿区長訪問報告

令和7年12月1日(月)に、齊藤理事長、佐々木副理事長、大津常任理事(地区・ブロック活動担当)、ヒルフェ新宿地区菅原地区リーダー、東京都行政書士会新宿支部の河野支部長の5名で、新宿区役所を訪問し、特別区長会会長吉住健一区長に面会してまいりました。

まず、齊藤理事長から訪問の趣旨を、佐々木副理事長から事業概要についてそれぞれご説明申し上げました。

その後、菅原地区リーダーより、11月15日(土)に四谷保健センターで開催された本会主催の成年後見無料市民セミナーにつき、新宿区および新宿区社会福祉協議会から後援を賜ったことへの御礼を申し上げました。

吉住区長からは、新宿区は定住外国人の割合が23区内でも高いことなどについてお話をあり、これを受け河野支部長より定住外国人が抱える課題の解決に向けた行政書士の一層の活用等について要望をお伝えいたしました。

面会は終始和やかな雰囲気の中で進み、大変内容の濃い有意義な訪問となりました。
(地区・ブロック活動担当常任理事 大津敏久)



◆広報主催の「AED(自動体外式除細動器)・CPR(心肺蘇生法)」研修を実施しました

12月12日(金)、会館1階会議室におきまして、防災士の資格もお持ちの石井修一会員を講師にお招きして、「AED・CPR&防災」をテーマに研修を開催いたしました。

今回は実験的に、参加者全員がCPRを体験的に学ぶことを目的としたため、受講可能人数が限られ、受講者の募集は役員等一部に限定いたしました。

研修は、防災の考え方から始まり、講師のCPRの現場での実体験のお話もあり、たいへん臨場感のある講義でした。そして実習では「『知ってる』を『できる』に』をテーマに、全員がトレーニングキットを使用してCPRを体験しました。全員が交代で行いましたが、皆、汗をかき、息を切らしながら必死でした。また、CPRをしながらAEDも使い、救急車を待つという、役割分担をして連携しながら行う実習模擬体験も致しました。質疑応答では、例えば被後見人等のお宅を訪問した際などに、そのような状況に遭遇した場合、また、自分一人しかいない場合の対応などについての質問があり、その時に応じた対応のアドバイスもいただきましたが、大変有意義な研修となりました。

最後に、地震などの災害に対する意識の必要性や、士業としてできることのお話がありセミナーは終了しました。

今後も、希望する方が全員受講できるよう、機会を設けて参りたいと思いますので、是非ご参加ください。(広報理事 高山久美子)

